

第2回会合宿題事項への対応

	宿題事項	対応・回答
1	<p>イーサネットへの対応について、ソフトウェアアップデートと別途アダプターを使用することで対応可能であると回答しているメーカーもある。その場合には型式試験をすべてやり直す必要があるか、対応した部分のみ型式試験をやり直せばよいか決定してほしい。</p> <p>【自機工】</p>	<p>変更による影響がないことが証明できる部分については、他の部分への影響がないと判断出来る実施済の試験結果を活用する取り扱いを検討する。</p> <p>ただし、通常、イーサネットの追加のように大きくソフトウェアの変更がなされた場合には、他の部分への影響が否定できないため、既に確認している通信プロトコルも含めて再度試験を受けていただく必要があると考えている。</p> <p>【機工協】</p>
2	<p>ツールメーカーは、イーサネット通信への対応予定の有無と、対応する場合はそのスケジュールを示してほしい。</p> <p>【事務局】</p>	<p>資料4「検査用スキャンツールの販売状況・予定」に追記。</p> <p>【機工協】</p>
3	<p>メーカー系列販売店(指定工場)のID登録数の推移は右肩上がりだが、鈍化することを危惧。ID登録済事業場一覧を提供いただく頻度を上げることは可能か。</p> <p>【自工会】</p>	<p>ID登録済事業場一覧について、月2回(毎月15日時点と月末時点)提供することとした。</p> <p>【機構】</p>
4	<p>メーカー系列販売店のOBD検査システムへの登録率が低い。販売店の本部が試験的に登録を行い、うまくいかなかった場合に各店舗への展開を止めてしまっていることが原因と考える。このような事例に対しても支援をお願いしたい。</p> <p>【自工会】</p>	<p>OBD検査システムでは政府が示すガイドラインに基づきシステム設計をしており、セキュリティレベルを高めている。その結果、メーカー系列販売店のセキュリティレベルにより、ID登録がうまくいかない事象が生じていると承知。このような事象については、OBD検査コールセンターにお問い合わせいただければ、個別に対応させていただく。</p> <p>【機構】</p>
5	<p>検査用スキャンツールのコネクタへの接続不良により、エンジンチェックランプが点滅したまま消えない事例があった。今後、同様な事案が発生した場合、受検者とのトラブルが発生するおそれがあることを危惧している。</p> <p>【軽検協】</p>	<p>資料6-2「OBD通信中にエンジンチェックランプが点灯する件に関する調査結果」のとおり。</p> <p>【機構、自工会】</p>
6	<p>データリンクコネクタにカーシェアリング装置が取り付けられており、当該装置を外すとエンジン始動不可となる事例について引き続き調査を行ってほしい。</p> <p>【事務局】</p>	<p>車検時にデータリンクコネクタに外部装置が取り付けられている車両は「車検を行うことができない状態」にあることを明確化。装置を取り外してから検査に持ち込むように受検者を指導する。</p> <p>【整備課・機構】</p>

	宿題事項	対応・回答
7	<p>整備工場と完成検査場の建物が分かれており、場合によっては完成検査場に通信環境が通っていないこともある。OBD検査の実施場所を完成検査場に限らなければいけない必然性如何。 【自工会】</p>	
8	<p>冬季の気温が低い地域では完成検査場や作業場の気温も低いため、検査用スキャンツールに用いるパソコンが寒さに耐えられるのか懸念。事務所に普段は置いておき、検査の際に持ち込むという運用になってしまうことも考えられるため、OBD検査の実施場所については柔軟に対応してほしい。 【日整連】</p>	<p>OBD検査及びOBD確認は、事業場の敷地内であれば、完成検査場以外の場所でも実施できることとする。 【整備課】</p>